

なかまの

NO.564 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙
2023年7月5日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
TEL018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

結婚可能な年収になれないまま 20年が失われた…最賃シンポジウム

6月17日、秋田市で『最低賃金引き上げ・最低生計費調査と経済波及効果を活用するシンポジウム』が開かれ、建交労から3人が参加しました。参加した秋田運送支部の鈴木書記長の感想を以下に載せます。

最低賃金引き上げや、最低賃金の全国一律化についての話題が新聞やTVなどで大きく取り上げられなかった、「今までの最低賃金が安すぎたのではないか？」というのが率直な感想でした。

取り留めのない規制緩和と、非正規雇用を増やしただけの雇用改革の結果、最低賃金スレスレで働かざるを得ない労働者ばかりになっている現実があり、なおかつ全国一律の基準がないために、県境をまたいで少しでも賃金の高い職場へと人材の流入が続き、東京都などの過度の過密化の原因となっているのではないかと東京都でも最低賃金近傍で働く労働者の増加の傾向が顕著で、もしあのバブル崩壊直後の時に、もっと高い最低賃金が設定されていればワーキングプア問題や就職氷河期世代への救済措置として機能していたのではなかったか？

この学習会参加の前に少し調べたことがあります。自分が当時バイトしていた山形県の1994年、平成6年度の最賃を調べると542円、バイト先はたしか760円。1年ごとに10円増額だった。今思えば最賃以上を払うだけの余裕がまだあった。その直後の消費税5%増税でその余裕が無くなってバイト代の増額が止まりました。じゃあバブル崩壊直後の東京都は？1989年、平成元年度の東京都の最低賃金は525円。ではその当時、最賃の525円でバイト募集が埋まったのかどうか？これがどうしても分からなくて閉会后に講師で全労連事務局長の黒澤さんに聞いてみたけど「当時はコンビニとかも少なかったし資料が無くて」とおっしゃっていました。

当時の就職氷河期の資料があると、もっと今の若い世代に切実に説明できるのではないかと思います。「子を持つかのボーダーは年収500~600万円」という資料が出された。最賃が安すぎたため、かつての就職氷河期世代(私もそうです)が結婚可能な年収になれないまま「20年が失われた」という結論だと言えます。



鳥海山(鶴岡市の加茂水族館より望む)



トンネルじん肺根絶 第7陣東北ブロック訴訟和解成立

6月19日、仙台地裁において、トンネルじん肺根絶第7陣東北ブロック訴訟の原告6名全員の和解が成立しました。(写真上)

第7陣訴訟は全国7地裁で合計70名の原告が被害救済を求めていましたが、仙台地裁の和解は、東京地裁、札幌地裁(一部和解)に次ぐ全国3番目の和解成立です。

午後3時に開廷された法廷で、裁判長から和解条項案が読み上げられ、和解(提訴から約1年5カ月での和解)が成立しました。仙台弁護士会館で開かれた記者会見にはマスコミ4社が参加しました。

会見では原告各々(6名中4名参加)から弁護団や支援者へのお礼や思いが語られました。その中でも遺族原告が亡き父を思い涙ながらに話す姿が印象的でした。東北弁護団・山田忠行団長は「すでに和解になった原告らが国を被告として再び立ち上がり勝利判決を勝ち取り、国まで動かした類をみない闘いがあった。この闘いによって国と原告らとの間で合意書が締結されたことにより、トンネル内の作業環境が改善され、じん肺患者の減少に繋がっていることを忘れてはいけません。」と記者らに訴えました。



世相
マイ難物語
まだめぐり逢わぬ人と
結ばれた紐はもつれに
もつれ結末は…
……ぼんこつシステム

核兵器禁止条約に批准を 唯一の戦争被爆国なのに核の傘下

八面六臂(はちめんろくべい)
昔の話だが、関連会社のトラックが事故を起こしてしまい、荷主や取引先の対応のための始末書や顛末書を書く羽目になったことがある。自分の運転した車ではないのだが、やはり自動車、特にトラックのような大きくて重量のある(職場にある)トラックは荷物を積むと20トン以上である物体が何かと接触すると、物理的には「車」という名の凶器である、ということに自覚しながら安全運転を心がけている。▼地方では公共交通機関が脆弱で自動車が生活の必需品である一方、維持費が捻出できず、任意保険に加入せず自賠償のみの車が増えているという。実際に接触事故のあと、相手が自賠償のみで支払いできず泣き寝入りした事もあった。ならば自賠償のみでも充分相手に保証できるような自賠償制度にするべきではないのか？ところが事態はさらに深刻になっているようだ。▼2023年7月1日から、車検証の貼付け位置が変更となった。理由としては「車検切れ自動車の摘発」をしやすいとするための措置らしい。国土交通省の説明では、任意保険どころか自賠償も払っていない自動車(3000台に1台程度存在している)というデータがあるそうだ。そんな自動車に接触したら目も当てられない。▼結局のところ、会社側で用意した保険で対応することにはなっているのだが、保険なしの自動車事故に対する何らかの政府からの補助システムが必要なのではないか。(佐正)

自民・維新の時代遅れ体質

官邸での記念撮影などの不祥事で岸田首相の政務秘書官だった長男・翔太郎氏がすったもんだの挙句に更迭。政治家の「世襲」「私物化」のキーワードに注目が集まる。保守派政治家の古い体質が浮かび上がった。

政治の私物化は安倍、菅両政権でも批判された。菅前首相の長男（元総務大臣秘書官）が勤める会社が、総務省幹部を違法接待した疑惑はうやむやなまま。森友・加計問題も安倍晋三・昭恵夫妻に近い人物への便宜供与が強く疑われる。翔太郎氏は「素行不良」が批判され、安倍・菅の案件と同列視はできない。しかし、権力者による再三の「身内びいき」はまさに既得権益。政治不信に繋がる。改憲・大軍拡・「核共有」を煽り続け、「戦争前夜」への逆行を画策する維新も古い体質が目に見える。

維新の梅村みずほ参院議員（大阪選挙区）は入管施設で亡くなったスリランカ人女性について詐病と根拠のない人權無視の質問を繰り返し、入管法改悪に賛成。これを、馬場日本維新の会代表も梅村発言は「何か間違っているということではない」と擁護する始末だ。維新府議団代表だった笹川理氏の同党女性大阪市議へのパワハラ・セクハラ問題も噴出。維新執行部の時代遅れの「超甘」対応が大問題となった。

政治モラルの回復は、有権者の厳しい一票で実現可能なのだが…。

飯田 光徳

社会福祉法人「野の花福祉会」

釧路湿原で考えたアイヌの歴史と文化

北の大地に20年ぶりに降り立った。教員時代の修学旅行付添以来か。旅の目的地の一つは釧路湿原。「百聞は一見に如かず」とはコレだ、とてつもなく広大。203.7平方km（ほぼ大阪市と同じ）の手つかずの自然が日本にもまだ存在するんだと唯々感動した。この周辺も当然アイヌ民族の生活の場だった。だが、19世紀後半から時の権力により彼らは翻弄（ほんろう）され続けた。

湿原を眺めていると前日の阿寒湖アイヌコタンの民芸品屋の青年を思い出した。彼は私が大阪からの観光客とわかると花園ラクビー場近くの友人を近々訪れるという。「大阪の名物料理は？」と質（ただ）され困った。お好み焼きとも言えず…。何の違和感もなく話す彼もアイヌ民族にルーツを持っているかもしれない。明治に入り設置された北海道開拓使はいくつかの条例、通達などを出した。成人女性の口の周りなどへの刺青、男性のピアス禁止。全ての土地の国有地化、自由に薪をとることも困難に…。川でのサケ類の捕獲、毒矢での鹿などの狩猟が禁じられ、主食の確保も厳しくなった。日本語学習が奨励され、アイヌ語が学校で学べなくなった。このような差別的な土地政策や同化政策で先住民族・アイヌ民族の文化は深刻な打撃を受けた。今日公表される人口は1万3千人余りだが、ルーツを隠したり、知らなかったりという人も少なくない。研究者は最大でその10倍は存在すると語る。

2019年、アイヌ新法ができた。しかし、アイヌ民族は法整備に参加できず、自己決定権も欠く。もちろん政府から謝罪の言葉もない。謝罪のない曖昧な解決では未来は明るくない。



東北ダンブ支部秋田分会
ゆきちゃん 58歳

個人加盟 笹 耕市 76歳



東北ダンブ支部秋田分会
佐藤正樹 61歳

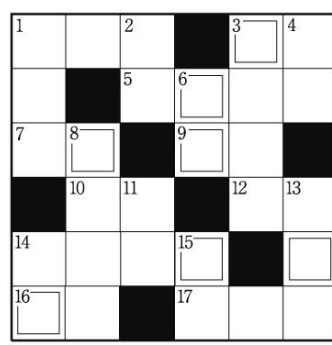
仲間の声

2023年5月27日から交通系カードスイカが、秋田、青森岩手で使える様になった。秋田は車社会なので私は電車、バスに乗る機会はありませんが、他県へ行く時、スイカを使う。電車はキップを買う必要がないし、バスは小銭あつたかな両替しないといけないなど心配しなくても良いので大変便利である。それが秋田でも使える様になって、たまには電車、バスで出かけてみようかなあーと思う今日この頃です。

夏至の日、暑い一日となった。早々とエアコンの出番となった。つい最近まで暖房が必要だったのだが…。近年は春と秋の季節が短くなったように思う。かつては暑い夏へ、寒い冬へと春と秋はゆるやかに移った。その季節の移ろいを楽しむことができたのだが、その余裕を与えなくなった。性急になった。そして岸田政権も何かに取り付かれたかのように軍拡とマイナンバーカード強制に突き進んでいる。安倍の亡霊に取り付かれている。

我が秋田県も梅雨入りした様ですが、今のは空梅雨なのか畑や庭先の花に恵みの雨は少ないです。6月なのに夏日が続くし、大雨は困るけど暑すぎるのも大変です。バテない様に皆さん頑張りましょう。

クロスワードパズル



カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。

- 【タテのカギ】
①危機を脱し——する ②えとの第二 ③病気の苦しみ ④雨の多いこと ⑥はじめ。——の口 ⑧外見、容貌 ⑩二の——を演じる ⑬布団の敷布 ⑭——壺。——に打たれる ⑮——とスッポン

- 【ヨコのカギ】
①踊る——に見る—— ③——いちもんも与えない ⑤個人的感情。——を挟む ⑦米国の通貨単位 ⑨——の東西を問わず ⑩夫の対 ⑫髪をすく道具 ⑭二者—— ⑯接吻 ⑰神出——

【前回の答え】 蝸牛（カタツムリ）

応募者3名、正解者3名でした。東北ダンブ支部のゆきちゃん（58歳）に1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢（さしつかえなければ）・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎。応募のしめ切り⇒7月25日の消印まで有効。発表は次号で。

ヒント→〇〇〇〇〇ッ〇…冷えているとウマイ
余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。

仲間の皆さん、ふるって応募を！
《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号
Fax.018-823-7751
建交労秋田県本部「なかま」クイズ係